

(4-1) 「文化活動の充実」に関する事業

(1) 市民文化・市民芸術の活性化

4-1-1 文化・芸術に親しむ機会を充実します・・・・・・・・・・61

(2) 文化財と文化資産の保全・再整備

4-2-1 郷土芸能伝承行事の団体活動や後継者の育成を支援します・・・・・・・・62

4-2-2 市内の文化遺産を活用した企画展やイベントなどを充実します・・・・63

4-2-3 埋蔵文化財発掘調査の最新情報の発信を充実します・・・・・・・・・・64

4-2-4 市内の文化遺産の情報を発信するデジタル資料館を充実します・・・・65

4-2-5 市内の文化遺産のガイダンス設備を充実します・・・・・・・・・・66

4-2-6 史跡末松廃寺跡の解明を進め魅力ある再整備を実施します・・・・・・・・67

4-2-7 貴重な歴史遺産である史跡御経塚遺跡の再整備を実施します・・・・68

4-2-8 文化財施設の計画的整備と活用を図ります・・・・・・・・・・69

## 令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課・教育総務課・地域振興課

基本目標            4 文化活動の充実  
 基本的施策        1 市民文化・市民芸術の活用性  
 具体的施策        4-1-1     文化・芸術に親しむ機会を充実します

### ■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・市立小中学校でスクールシアター、オーケストラを鑑賞する機会の提供
- ・「ののいちマナビィフェスタ」などを通じた文化・芸術鑑賞する機会の提供

### ■施策のまとめ

#### （1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・古典芸能などの鑑賞や「ののいちマナビィフェスタ」など子どもから大人まで幅広い世代を対象に文化・芸術を身近に感じることができる機会を提供できた。	・文化・芸術は、想像力豊かなひとづくりと活気あるまちづくりには欠かせないものであり、市民が普段から身近に感じることができる環境をつくることが重要である。 ・市民参加型のイベントなどを通じて文化芸術活動の充実を図るなど、文化・芸術を身近に感じることができる機会を継続して提供することが必要。

#### （2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)

#### （3）今後の展望

- ・古典芸能などの鑑賞や「ののいちマナビィフェスタ」など、子どもから大人まで幅広い世代を対象に文化・芸術を身近に感じることができる機会を継続して提供する。

### ■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
<b>C</b>	<b>C</b>		市立小中学校で実施されるイベントなどを通じて文化・芸術を身近に感じることができる機会を引き続き提供していく。

## 令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標            4 文化活動の充実  
 基本的施策        2 文化財と文化資産の保全・再整備と活用  
 具体的施策        4-2-1 郷土芸能伝承行事の団体活動や後継者の育成を支援します

### ■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・文化財保護審議会の開催
- ・郷土芸能伝承行事の市文化財指定に向けた調査の実施

### ■施策のまとめ

#### （1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護審議会の開催や歴史関係団体への活動助成を実施したことで、文化財の保存及び活用を図った。</li> <li>・郷土芸能伝承行事について、過去の調査成果を整理し、無形民俗文化財の市指定に向けた補完事項を確認することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に残る文化財の保存及び活用を図るため、文化財の調査・指定、文化財保護審議会の開催を行っていくことが必要。</li> </ul>

#### （2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)
4-2-1	郷土芸能伝承行事普及啓発活動件数（累計）	回	1	4	8	15
4-2-1	市指定無形民俗文化財の件数	件	1	0	2	4

#### （3）今後の展望

- ・保存すべき郷土芸能伝承行事について、学識経験者などによる調査を継続して実施し文化財指定を目指す。

### ■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
<b>A</b>	<b>C</b>		郷土芸能伝承行事の文化財指定を目指し、引き続き調査を実施する。

## 令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標        4 文化活動の充実  
 基本的施策     2 文化財と文化資産の保全・再整備と活用  
 具体的施策     4-2-2    市内の文化遺産を活用した企画展やイベントなどを充実します

### ■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・市内の歴史資料を紹介する企画展や解説講座の実施  
   （文化財企画展「源平合戦と野々市」 会場：ふるさと歴史館 来場者数：延べ190人）
- ・縄文土器づくり、勾玉づくりをはじめとした古代体験イベントの実施（会場：ふるさと歴史館 参加者数：93人）
- ・ふるさと歴史講演会の実施（「鎌倉武士と北陸道」来場者数：100人）
- ・職員による市立小学校での講座の実施（野々市小学校・館野小学校・菅原小学校・富陽小学校）
- ・市ホームページ等を活用した歴史や文化財の情報発信
- ・市内の歴史や文化財を紹介するパンフレットの作成

### ■施策のまとめ

#### （1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代体験、企画展示、講演会などの実施により市民に市内の文化財を普及する機会を創出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展やイベントについては、公共の財産である文化財の魅力をわかりやすく発信する効果的な方法を検討し、継続して市の歴史や文化財を幅広い世代に伝える事業を展開していくことが必要。</li> </ul>

#### （2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)
4-2-2	イベントなどへの参加者	人/年	1,694	1,078	1,200	5,000
4-2-2	文化財施設の利用者数	人/年	4,309	10,893	12,000	10,000

#### （3）今後の展望

- ・文化財の魅力を広く周知するための普及啓発事業の内容を検討し実施する。
- ・文化財をより身近に感じることができるよう文化財施設の活用を推進する。

### ■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
<b>C</b>	<b>C</b>		市内の文化遺産を幅広い世代に普及・啓発するため、引き続き事業を継続する。

## 令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標            4 文化活動の充実  
 基本的施策        2 文化財と文化資産の保全・再整備と活用  
 具体的施策        4-2-3 埋蔵文化財発掘調査の最新情報の発信を充実します

### ■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・埋蔵文化財発掘調査の現地説明会の開催（田尻ジッタ遺跡 参加人数：61人）
- ・埋蔵文化財企画展の開催  
     （石川中央都市圏考古資料展「縄文時代編」 会場：ふるさと歴史館 来場者数：延べ213人）
- ・市ホームページ等を活用した埋蔵文化財発掘調査現地説明会資料及び発掘調査成果、企画展などの情報発信
- ・職員による寿大学歴史コースでの講義の実施（受講回数：5回、コース専攻者数：27人）

### ■施策のまとめ

#### （1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・埋蔵文化財発掘調査の現地説明会及び企画展の開催により、市内文化財の最新情報などが発信できた。	・現地説明会について、発掘調査の条件によって実施できない場合があるため、ホームページ等を活用し効果的な情報発信が必要。

#### （2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）

#### （3）今後の展望

- ・市民に文化財を広く啓発するため、埋蔵文化財発掘調査現地説明会及び企画展などを継続して行うとともに、市広報や市ホームページを活用し、開催の周知や発掘調査成果の発信を行う。

### ■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
<b>A</b>	<b>C</b>		市民に文化財を広く啓発するため、埋蔵文化財発掘調査現地説明会及び企画展などの実施と情報発信を継続する。

## 令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標            4 文化活動の充実  
 基本的施策        2 文化財と文化資産の保全・再整備と活用  
 具体的施策        4-2-4    市内の文化遺産の情報を発信するデジタル資料館を充実します

### ■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・デジタル資料館のコンテンツの更新
- ・市ホームページへの掲載によるデジタル資料館の情報発信

### ■施策のまとめ

#### （1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・保存修理終了後の国重要文化財「御経塚遺跡出土品」写真をデジタル資料館に追加するなどコンテンツ内を更新することで内容の充実を図り、利用者の学習活動に資することができた。	・埋蔵文化財の調査成果や民具などの未掲載のコンテンツの補完やアクセス数向上のための魅力的なコンテンツの考案・周知方法の改善を検証することにより内容の充実を図ることが必要。

#### （2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)
4-2-4	デジタル資料館へのアクセス数	人/年	4,417	3,936	4,250	7,000

#### （3）今後の展望

- ・デジタル資料館のコンテンツを拡充していくとともに、デジタル資料館のさらなる周知を目指す。

### ■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
A	A		コンテンツ拡充及びアクセス数の向上を目指すため、内容の充実及び情報発信を図る。

## 令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

基本目標            4 文化活動の充実  
 基本的施策        2 文化財と文化資産の保全・再整備と活用  
 具体的施策        4-2-5    市内の文化遺産のガイダンス設備を充実します

### ■当該施策に基づいて実施した主な事業

・市ホームページへの掲載及び文化財マップの配布による市内文化財説明看板の周知活動

### ■施策のまとめ

#### （1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・市内文化財説明看板設置について、市ホームページへの掲載及び文化財マップを配布することで市民に広く存在を周知できた。	・新たに判明した遺跡等に対応した設置計画の作成や、既設看板についても板面へのQRコードの取り付けやホームページのリンク等、市民に広く文化遺産の周知ができるような工夫が必要。

#### （2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)
4-2-5	文化財説明看板の整備数	基	58	0	1	70

#### （3）今後の展望

・発掘調査によって新たに判明した遺跡等の説明看板について、整備計画を作成する。  
 ・既設の看板についても、状況に応じて適切に板面を刷新し、周知活動を継続して行う。

### ■評価

事業区分 (方向性)	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他 (縮小・廃止など)	理由
A	A		看板の新設や既設の看板の更新を行い、より市民に周知を図るため、事業を拡大・重点化する。

## 令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標            4 文化活動の充実  
 基本的施策        2 文化財と文化資産の保全・再整備と活用  
 具体的施策        4-2-6 史跡末松廃寺跡の解明を進め魅力ある再整備を実施します

### ■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・発掘調査の実施（金堂南西部 45㎡）
- ・現地説明会の実施（来場者：85人）
- ・野々市市遺跡調査指導委員会の開催（2回）

### ■施策のまとめ

#### （1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・野々市市遺跡調査指導委員会及び文化庁・県による指導に基づき金堂跡の発掘調査を実施し、石を敷きつめた遺構を確認した。</li> <li>・発掘調査現地説明会を開催し、調査成果を広く周知し、史跡末松廃寺跡への市民の関心を深めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の進捗に合わせて適宜事業計画の見直しが必要。</li> </ul>

#### （2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）
4-2-6	発掘調査の進捗率	%	80	88	92	100
4-2-6	末松廃寺跡の再整備進捗率	%	45	56	61	100

#### （3）今後の展望

- ・学識経験者などで構成される遺跡調査指導委員会及び文化庁・県からの指導を受けながら再整備につながる情報を得るための発掘調査を実施し、調査の進捗に合わせて適宜事業計画の見直しを図っていく。

### ■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
<b>C</b>	<b>C</b>		事業計画に則り、事業を継続する。



令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標 4 文化活動の充実  
 基本的施策 2 文化財と文化資産の保全・再整備と活用  
 具体的施策 4-2-7 貴重な歴史遺産である史跡御経塚遺跡の再整備を実施します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

・国重要文化財に指定されている御経塚遺跡出土品の土器11点を文化庁の指導に基づき保存修理を行った。  
 ・保存終了後の出土品については、史跡御経塚遺跡公園に隣接しているふるさと歴史館での展示や、デジタル資料館による公開を行った。

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・保存修理の完了した出土品を御経塚史跡公園に隣接しているふるさと歴史館において展示したことで、文化財の魅力を広く市民に周知できた。	・国重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理について万全を期し、デジタル資料館を活用するなどの展示公開の方法についてもより魅力的な方法を考案する。 ・現在の史跡整備は、周辺の調査で得た成果から復元されており、本来の姿を示していないことから再整備のための発掘調査が必要。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)
4-2-7	重文御経塚遺跡出土品修理の進捗	%	65	75	79	100

（3）今後の展望

・保存修理について、文化庁の指導を受けながら実施し、保存修理の完了した土器・土製品については、ふるさと歴史館において展示公開を行っていく。

■評価

事業区分 (方向性)	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他 (縮小・廃止など)	理由
A	C		修理計画及び文化庁の指導に基づき、保存修理を実施し、修理終了後の出土品は継続して展示公開を実施する。

## 令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） 生涯学習課

- 基本目標            4 文化活動の充実  
 基本的施策        2 文化財と文化資産の保全・再整備と活用  
 具体的施策        4-2-8    文化財施設の計画的整備と活用を図ります

### ■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・ふるさと歴史館：来館者への施設案内、重要文化財御経塚遺跡出土品などの展示、企画展・古代体験開催などの施設活用、施設改修（高圧気中開閉器更新等）
- ・郷土資料館：来館者への施設案内、農具・生活道具などの展示、施設管理運営を民間事業者へ移管するための協議などの準備行為、施設改修（消防設備）
- ・喜多家住宅・来館者への施設案内、大学授業やイベント等での活用、施設改修（道具蔵壁、ブロック塀撤去等）

### ■施策のまとめ

#### （1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展やイベントの実施により、文化財施設の活用促進を図り、市民が施設を利用しやすい環境を整えた。</li> <li>・郷土資料館の民間事業者への無償貸し付けについて、関係課と連携し、検討及び準備行為を実施したことで、郷土資料館周辺のにぎわい創出を推進できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公共施設個別施設計画」に基づいた計画的な施設改修が必要。</li> <li>・文化財施設の活用促進に向け、展示設備の整備やイベントの企画などの検討が必要。</li> <li>・カミーノ、カレードなどの他公共施設や関係団体、地元の大学などとの連携が必要。</li> </ul>

#### （2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）

#### （3）今後の展望

- ・ふるさと歴史館については、「公共施設個別施設計画」や各種点検結果等に基づき、計画的な修理・管理を行っていく。
- ・郷土資料館は、「公共施設個別施設計画」等に基づき、修理等を計画的に実施し、民間事業者及び関係各課と共になぎわい創出に努める。
- ・国重要文化財喜多家住宅は、修理について文化庁や県等の指導を仰ぎながら適切に管理を行っていく。

### ■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
<b>C</b>	<b>A</b>		施設の更なる利活用の促進を図る。

#### (4-2) 学識経験者からの意見

文化財は、今まで守り続けられてきた貴重な野々市市の重要な財産であり、歴史的価値のあるものがたくさんあります。市民に広く知ってもらうためにも、文化財企画展、ふるさと歴史館での古代体験、講演会、市内小学校での講座やパンフレットの作成など、今まで以上に大人も子どもも気軽に見聞きできる魅力あるものを実施し、また講演会や鑑賞にいけない市民のためにもデジタル資料館など充実していただきたいです。

市内各所に設置されている文化財説明看板は、説明場所が記載されている文化財マップとの共存による充実が図られ、説明内容も分かりやすくなっており、街歩きが楽しく感じられます。今後も、市民の郷土愛を育むきっかけにしたいものです。

芸術鑑賞事業によって、市内の小中学生が本物の芸術に触れられる機会を持つことができるのは、子どもたちの情操などを育むうえで非常に大切であります。スクールシアターやオーケストラ鑑賞などと内容も工夫されていると思います。今後も事前事後指導を充実させるなどにより、子どもたちの豊かな情操の涵養につなげていただきたいです。また、ののいちマナビィフェスタのような市民参加型のイベントなどを通じて子どもから大人までの幅広い世代が文化・芸術を感じることができる機会を充実させることも大切なことであると考えます。

#### (4-3) 今後の方針

- ① 文化財企画展や古代体験学習、歴史講演会、学校での出前講座など、郷土の歴史や伝統行事の知識を深める普及啓発事業の更なる充実を努めます。
- ② 市ホームページで文化財資料の公開・活用を行うデジタル資料館の新たなコンテンツ作成等の充実を努め、市民にわかりやすく、広く周知します。
- ③ 市内にある文化財をより知ってもらうよう、文化財説明看板や文化財マップの周知活動を引き続き実施していきます。
- ④ 市民参加型のイベントなどを通じて、文化芸術活動の充実を図るなど、文化・芸術を身近に感じることができる機会を引き続き提供していきます。